

# 慢性炎症性脱髄性多発神経根炎(CIDP)の臨床および電気生理学的検査を含む検査所見に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2021年11月4日～2025年3月31日

〔研究課題〕慢性炎症性脱髄性多発神経根炎(CIDP)の臨床所見・検査所見・電気生理学的所見についての後ろ向き研究

〔研究目的〕CIDPには様々な臨床像を呈する病型が知られており、その他の疾患との鑑別に苦慮することも多くあります。神経伝導検査を含む電気生理学的検査はCIDPの診断において重要な検査であります。種々の病型における電気生理学的検査の特徴は完全には明らかになっていない部分もあります。本研究では、現在のガイドラインで用いられている電気診断基準の感度や、特徴ある病型における臨床所見や電気生理学的検査の特徴を明らかにすることを目的とします。

〔研究意義〕現在用いられているガイドラインにおいて、電気生理学的検査における脱髄の診断基準がどの程度の感度や特異度を有しているかを明らかにし、問題点やその改良点を明らかにすることで、より正確なCIDPの診断に寄与することが期待できると考えられます。また、特徴ある病型における臨床所見や電気生理学的検査の特徴が明らかになればCIDPの正確な診断に役立つことが期待され、意義が大きいと考えます。

〔対象・研究方法〕2000年以降から2021年9月までの、当科で神経伝導検査を含む筋電図検査を行った、もしくは入院したCIDP患者様の臨床経過、神経診察所見、画像所見、電気生理学的検査所見を後ろ向きに検討し、集計します。

〔研究機関名〕帝京大学医学部附属病院神経内科

〔個人情報の取り扱い〕収集したデータは、個人毎に匿名化したデータとしてデータ管理責任者が常時施錠される医局内のコンピュータのハードディスクに責任をもって保管し、パスワードを設定して研究責任者及びデータ管理責任者以外がアクセスできない体制とします。研究終了後には研究責任者が保管の対象となる記録類一式をDVD-Rに記録し、封かん用封筒に詰め、倫理委員会事務局に提出します。帝京大学臨床研究センター(以下、「TARC」)による保管期間は研究終了から10年であり、研究責任者から延長の申し出がない場合は、TARCにより適切に破棄されます。また、学会論文等での公表は集計結果のみであり、個々人の情報は提示しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:帝京大学医学部神経内科・助教 神林隆道

研究分担者:帝京大学医学部神経内科・主任教授 園生雅弘

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部附属病院神経内科(03-3964-1211)〔内線 7346〕